

第1学年 保健体育科学習指導案

学 校 名 石川県立輪島高等学校
 指導者 職・氏名 保健体育科教諭 (T1)
 保健体育科教諭 (T2)
 がん経験者 (T3)

指導日時・教室 令和5年12月14日(木) 5限目 教室名：視聴覚教室
 対象生徒・集団 1年(次)生90人(内訳：ビジネスコース26人、普通コース64人)
 科 目 名 保健(単位数 1)
 使用教科書 現代高等学校保健体育(出版社名 大修館書店)

1 単元(題材)名 (1) 現代社会と健康 (ウ) 生活習慣病などの予防と回復

2 単元(題材)の目標

- 生活習慣病などの予防と回復について、理解することができるようにする。 【知識】
- 生活習慣病などの予防と回復に関する情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境作りなどと、解決方法を関連付けて考え、適切な整備や活用方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】
- 生活習慣病などの予防と回復について、自他の社会の健康の保持増進や回復、それを支える環境づくりについての学習に主体的に取り組もうとすることができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】

3 単元(題材)の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①生活習慣病などのリスクを軽減し予防するには、適切な運動、食事、休養及び睡眠など、調和のとれた健康的な生活を続けることが必要であること、定期的な健康診断やがん検診などを受診することが必要であることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ②がんには、肺がん、大腸がん、胃がんなど様々な種類があり、生活習慣のみならず細菌やウイルスの感染などの原因もあることについて、理解したことを言ったり書いたりしている。 ③生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり	①生活習慣病などの予防と回復について、それに関わる事象や情報などについて、健康に関わる原則や概念を基に整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見するとともに、習得した知識を基に、自他の生活習慣や社会環境を分析し、リスクの軽減と生活の質の向上に必要な個人の取組や社会的な対策を整理している。	①生活習慣病などの予防と回復についての学習に主体的に取り組もうとしている。

書いたりしている。

4 単元（題材）の指導に当たって

（1）生徒観

1年生は、知識の習得や学習意欲に大きな幅があり、積極的に学習に取り組める生徒と集中して授業に取り組むことのできない生徒で二極化している。自身の健康に関する関心が低く、保健の授業で学んだことを実生活に結び付けられている生徒は少ない。一方で、事前アンケートの結果から、早期発見すればがんは治りやすいと大半の生徒が考えており、がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けようと思っている生徒も多数いることがわかった。

（2）教材観

がんは日本人であれば2人に1人がかかるという非常に身近な病気である。がん教育を通してがんの正しい知識について理解を深めるとともに、健康と命の大切さについて主体的に考えることができるようにしていきたい。がん患者は増加しているが、生存率も高まり、治る人、社会に復帰する人、病気を抱えながらも自分らしく生きる人が増えてきている。社会生活を行っていく中で、がん患者への偏見をなくし、お互いに支えあい、共に暮らしていくことが大切であることを理解するとともに、がんになってもならなくても生きやすい社会について考えられるようにしたい。

（3）指導観

がんと向き合う人々と触れることを通して、様々な人が共生できる社会づくりを目指すことができるようにしていきたい。

がんは日本人であれば2人に1人が罹患するという身近な病気であるが、全体で半数以上、早期発見・早期治療を行うことで9割近くの方が治る。しかし、日本人のがん検診の受診率は先進国では最低であり4割にとどまっている。このことから、がんに対する関心を高めることとがんを通して健康と命について考えることができるようにしていきたい。がん教育を通して正しい知識を身につけるとともに、将来、がんになっても正しい情報を手に入れ、自身にとって適切な行動選択を行うことができるようにしていきたい。

5 単元（題材）の指導と評価の計画（4時間）

	主な学習活動	知	思	態	主体的に学習に取り組む態度の評価の方法等
1	1. がん、脳血管疾患、虚血性心疾患、高血圧症、脂質異常症、糖尿病についての説明を聞く。 2. 生活習慣病などの発生要因とその予防について、個人の考えをワークシートに記入する。 3. 生活習慣病などの発生要因とその予防についてグループで話し合い、予防に必要なことを分類し、発表する。 4. 定期的な健康診断の受診が生活習慣病などの予防に必要なことを知る。 5. 振り返り及び本時の学びの姿について自己評価を行う。	①			
本時	1. がんの予防について、がん検診の目的や早期発見の重要性を理解する。がん検診について考える 2. がん検診の受診率の低さについて考える。 3. がん検診の普及について受診率を上げるために自分が社会に対してできることは何かグループで考える。	③			
3	1. がんの回復には、患者や周囲の人々の生活の質を保つことや緩和ケアが重要であることに触れ、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることを理解する。 2. がんの治療方法、がんの患者等の生活の質の向上や緩和ケアの必要性について説明を聞く。	②			

4	1. 生活習慣病などの予防や回復について、社会的な対策の必要性や課題について振り返る。 2. グループごとに社会的対策について個人でワークシートにまとめる。 3. まとめた内容をグループで話し合う。 4. 社会的対策の課題と対応策について、グループで提言を行う。		①	①	
---	--	--	---	---	--

6 本時の学習（第一次 2時）

（1）本時のねらい

生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書き出したりすることができる。〈知識〉

（2）準備・資料等

教科書、ノート、筆記用具、プロジェクター、スクリーン、Chromebook

（3）本時の展開

時間	学習内容	生徒の学習活動	教師の指導・留意点	評価規準 【観点】（評価方法）
5	1. 挨拶、出欠確認 2. 本時の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶、出欠の確認を行う。 ・本時の学習内容・学習課題を提示し、本時の課題について理解できるようにする。 	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> 輪島市のがん検診受診率をあげるために何が出来るか？ </div>				
20	3. 外部講師の方のお話を聞く（8分） 4. がん検診について知る	<ul style="list-style-type: none"> ・日本（石川県）のがん死亡率、がん検診受診率を知る。 ・がん経験者の方のお話を聞いて疑問に思ったこと、初めて知ったことなどメモを取りながら聞く。 ・いつ頃、何癌に罹患したか ・がん発見の経緯 ・がんの治療法・闘病期間 ・がん経験者の方からお話していただくことで、がん検診の重要性や早期発見・早期治療の大切さに気付く。 ・日本のがん検診の目的や早期発見の重要性について知る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話を聞きながら大切なことはメモを取るよう指示する。 ・早期発見するための日本のがん検診についての取り組みについて説明する。 	

		<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪島市のがん罹患率、検診受診率を知る。 ・ 輪島市の取り組みについて知る。 (広報わじま等で案内・インターネットに掲載) ・ なぜ輪島市のがん検診の受診率が低いか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪島市のがん検診についての現状・取り組みについて説明する。 ・ がんは早期発見・早期治療が大切であるが、なぜがん検診受診率が低いのか考えさせる。 	
20	5. がん検診受診率向上のためのアイデアを考える	<p>発問・ 輪島市民のがん検診受診率を上げるためにどのような取り組みができるかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 5～6人グループでがん検診の受診率を上げるための取り組み・キャッチフレーズについて話し合う。 ・ 話し合いの結果を各班記入する。(ジャムボード) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪島市のがん検診受診率を上げるためにできることを考えさせる。 ・ 大切な人(家族や友人)にがん検診を知ってもらうために何ができるかをグループで具体的に考えさせる。 ・ 机間指導を行い、話し合いの様子を観察する。 ・ 話し合いが滞っているグループにはどうしたらがん検診に行こうと思うか、身近な人ががん検診に行くための声掛けを考えるようアドバイスする。 	
5	6. 学習のまとめ 7. 本時の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・ がんの予防には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及など社会的な対策が必要であることを確認する。 ・ 本時の振り返りをする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輪島市のがん検診受診率を上げるためにできること ① 高校生ができること 家族や周りの人のがん検診を受けることの重要性を伝えるなど ② この先、意識していきたいこと がん検診を受けられる年齢になったら検診を受けに行くなど ・ がん検診の受診率について考えたこと、学んだことや新たな気づきなどを考えるよう促す。 	<p>生活習慣病などの予防と回復には、個人の取組とともに、健康診断やがん検診の普及、正しい情報の発信など社会的な対策が必要であることについて、理解したことを言ったり書きだしたりしている。</p> <p>【ワークシート等】〈知識及び技能〉</p>

(4) その他

※板書計画や本時の評価等、生徒のゴールの姿が分かるような資料を作成した場合は、記載すること